

那加二東部



福祉だより

第63号

令和7年3月15日発行

編集・発行

各務原市社会福祉協議会

那加二東部地区



声かけ気かけ心かけ



那加二東部地区
社会福祉協議会
会長 大橋 貴司

令和六年度も残り数週間となりました。日頃から地区社協にご協力及びご理解を賜り感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大により、四年度までの三年間ほとんどのふれあい行事等が出来ない状況でしたが、五年度につきましては、感染予防に注意をしながら各種行事の開催に向けて関係者の皆様に努力していただき、小規模ながらふれあい行事を実施することが出来、地区社協として新たに「ご近所畑事業」を開始することも出来ました。六年度では親子ふれあい行事の新しい取り組みとして「夏休み宿題の会」を市役所の協力を得て開催することが出来ました。

また自治会連合会主催の「ふれあいウオーキング大会」にブースを出して連合会のふれあい活動にも協力出来ました。

高齢者ふれあい行事としては「落語を楽しむ会」を催し大好評でした。

来年度も皆さんに楽しんでいただける行事を企画していきたいと思っております。

感染予防の観点から、今年度、「高齢者ふれあい交流会」ではお弁当ではなく簡易な軽食を配布しました。

今しばらくの間は各種行事共に感染予防の配慮は続けていくべきところと考えております。

福祉活動の基本は、皆様の声掛けからと考えています。活動の手始めとして皆様から地域の高齢者や子供たちへの声掛けでスタートしてみませんか。ちよつとした挨拶から支え合う心も育まれると考ええます。

誰もが住み慣れた各務原市で安心して暮らしていけるよう、地域の住民がお互いにふれあいを深め、認めあい、つながりあいながら、また支援を必要としている方を地域で見守り支え合う手助けを地区社協の一員として微力ではございますが努力していきたいと思っております。

「声かけ気かけ心かけ」の気持ちを持っていただいで出来ることから始めていきましょう。

皆様には、来年度も変わらず地区社協の活動にご理解とご協力をお願いいたします。

幸せを実感できるまちづくりの実現を目指して努力していきたいと思っております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

夏休み宿題の会

七月二十五日と二十六日の二日間、那加二東部地区社会福祉協議会と那加二小校区(東部)青少年育成市民会議との共催で、小学生を対象とした「夏休み宿題の会」を市役所の市民交流スペースをお借りして実施しました。

十数名の小学生が参加し、涼しく静かな中で集中して学習が出来たのではないかと思います。

来年度も引き続き、この行事を開催していきたいと思っております。



ふれあいウォーキング大会

十月六日に那加二東部自治会連合会主催の「ふれあいウォーキング大会」に、地区社協としてウォーキングコース途中にブースを出す形で協力しました。たくさんのウォーキング参加者の皆さんに、エゴ活動のすすめのパンフなどを中学生のふれこみ隊と二緒に配りました。

昨年度までは限定したふれあい行事を実施していましたが、今年度からは「夏休み宿題の会」と「ふれあいウォーキング」を地区社協としてのふれあい行事としていきたいと思えます。来年度もブースを出す形で協力していきます。



高齢者ふれあい交流会

(防災の話・落語を楽しむ会)

十月十七日、総合福祉会館集會室にて「高齢者ふれあい交流会」を開催しました。

内容は、防災(地震)の話と落語を楽しむ会の二部構成でした。約七十名の参加者があり盛会となりました。

前半の「防災のお話し」では、もしもの時のために日頃からの準備対策が必要であり、個人で出来ることから意識してコツコツと準備することが大事であると認識できたと思えます。まずは水と簡易トイレの備蓄から始めましょう。



後半の「落語を楽しむ会」は、落語家「桂福若」様をお招きしての独演会でした。

楽しいお嘶に参加者の皆さんの大きな笑い声が会場いっぱいに拡がりました。

交流会を終えた後も、落語をもう一度聞きたいというお声をたくさんいただきました。

毎年試行錯誤してふれあい交流会の内容を考えられています。来年度は、落語の時間を大きくとって開催するのも一つの案かなと、来年度の開催内容として地区社協で考えてまいります。

「高齢者ふれあい交流会」では、参加者の皆さまに軽食をお配りしました。例年ではお弁当の配布や会食の時間を設けたりしておりましたが、まだまだ感染症予防対策を考えなければならぬ状況が続くと見込まれます。

来年度以降は、会食の機会を作ることも検討していきますが、今年度と同じく軽食の配布となるかもしれません。

予めご了承のほど宜しく申し上げます。次回も楽しい会にしていきたいでしょう。





私の住む町から

今回は、大東町・桜町一・桜町二・三井東町自治会から紹介します。

笑顔いっぱい ボランティアハウス

大東町 今尾 春由

お元気ですか、いつもお互いの健康状態を気づきながら月に数回、ストレッチ体操・健康マージャンなどの事業を通して楽しい交流会を開催されている大東町ボランティアハウス。

春・秋の公園花苗の美化活動や連合会主催の「趣味の作品展」への出展にも創意工夫を凝らし毎年参加していたでいます。

また、地区社協主催の「高齢者交流会」や「近所畑事業(プチトマトの苗植付)」にも前向きに参加されています。

五月には、高齢福祉課のご協力のもと「フレイルチェック講座」を大東町集会場にて開催していただきました。参加された多くの方々から有意義な時間をありがとうございました。

これからも色々な事業を通して、楽しく長生き笑顔いっぱい温かいハウスとして活動し続けていただきたいと思います。

大東町自治会のエネルギー源の一つとして益々のご活躍を祈念申し上げます。

そしてこうした活動が広がり、もっと温かい地域になりますように。



三世代ふれあい七夕会

夏休みラジオ体操の開催

桜町一 安田 真人

桜町一丁目においてもこの数年はコロナ禍で色々な行事が中止となっていました。コロナが5類に移行され徐々に以前の状態に戻りつつあります。

今回、桜町一丁目では子ども会主催の「三世代ふれあい七夕会」が七月六日(土)東部集会場にて開催され五十五名(大人三十三名、小学生十七名、幼児五名)という多くの方に参加していただきました。

年に一度願いが叶うとされる七夕の日、子供たちが思い思いの願いを短冊に込め笑顔で笹飾りする姿に大人たちも微笑み談笑する場面が見られました。

七夕飾りの後は、アトラクションとして市のいきいき楽習課からの出前講座でマジックを披露していただき子供たちも舞台上がって一緒に手品を楽しむ姿もありました。その他にも全員参加のビンゴゲームがあり最後まで賑やかな雰囲気の中で楽しく過ごすことができました。



また、夏休

みに入り七月二十九日から八月二日の五日間は子ども

会と自治会主催のラジオ体操を実施しま

した。市役所低層棟一階広場の使用許可

をいただき、朝六時三十分開始で期間中

は幼児から高齢者まで毎日約七十名の方に

参加いただきラジオから流れる伴奏に合わせて元気よく体操を楽しみました。

七夕会とラジオ体操を通して普段お会いする機会があまりない町内の皆さんとの有意義なひとときを過ごすことが出来ました。



ボランティアハウスに参加して

桜町二 河村 就也

当自治会は、「桜二いきいきサロン」と称したボランティアハウス事業を行っています。

月に一回の集まりで主に高齢者の方々が中心ですが、毎回ゲームや講話・モノづくりなど趣向を凝らした催しに皆さん元気に参加しておられます。

私も自治会役員として三年前から参加していますが「ガラッキー」とか「クロリテイ」というゲームを初めて知りました。また「トランプ」や「ビンゴゲーム」は前にやったのはいっだったのか思いうせないくらいでした。

いずれも「いきいきサロン」に参加しなければ、今後楽しむことも、多分やろうともしなかったと思います。

しかし、いざ参加してみると顔は知っていても名前を存じ上げなかったり、挨拶はしてもお話ししたことが無い方々と、真剣にゲームに没頭し、お互いに競い合ったり激励したりしてしまいます。

特にトランプのババ抜きの際には手持ちカードを読まれないよう必死に平静を装う姿が楽しくてたまりませんでした。

また月によっては、「神輿の練り歩き」や「三世代ふれあい交流会」「芋煮会」「桜を観る会」など自治会やシニアクラブの行事に参加するなど年間を通して楽しむことができます。

今では、月に一回とはいえゲームなどを通じてお互いに顔を合わせ近況を話し合ったりして交流を深めることが自治会の活性化に欠かせないものと痛感しています。



今後は、新しい参加者をいかに誘うか、またそのための魅力ある内容の選定などを皆で話し合っていくことも必要ですが、これ自体が自治会活動活性化の一助になるものも期待しております。



**人気だった「芋掘り」
今後はふれあいの機会増やす**

三井東町 竹内 良郎

三井東町自治会は約八十世帯の自治会ですが高齢化が進んでいます。また子どもさんの数も減少し、高齢化・少子化に直面しています。

そのため、近隣ケアや子ども会も活動を停止しているのが現状です。

新型コロナウイルスの感染発生から、それまで自治会で行っていた春のお祭り・夏のふれあい交流会が中止になり、コロナ禍が落ち着いてからも中止した行事の復活が出来ませんでした。

会員の皆さんからは「会員同士がふれあう機会がなくなり残念です」との声が多く寄せられました。以前のように皆さんが集まって食事をする事

は、まだ警戒感があり完全に元の状況に戻すには難しいのですが、何とか会員同士が触れ合える機会が作れないかと考え、今年度は、「ふれあい交流会」と「芋掘り」の行事を行いました。



「芋掘り」は、ふれあいセンターの外で行いましたので感染リスクが少なく、参加者は満面の笑みを浮かべながら芋掘りを楽しんでいました。

「やって良かった」というのが今の気持ちです。まだまだ安心できる状況ではありませんが、会員の皆さんが少しでもふれあえる機会をこれから模索していきたいと思っております。

● 広がる！つながる！ご近所畑 ●

『ご近所畑事業』のお知らせ

年度内一回のご近所畑事業を来年度も検討中です。四月末に、ミニトマトの苗を配布予定です。皆さん、ご応募ください。

● 広がる！つながる！ご近所畑 ●